

令和6年度指定管理運営業務評価票

施設名称：府立門真スポーツセンター	指定管理者：CM・関電FA・パティネレジャー 門真SC共同事業体	指定期間：令和2年4月1日～令和12年3月31日	所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課
-------------------	----------------------------------	--------------------------	----------------------

評価項目			評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価 S～C	施設所管課の評価	評価 S～C	評価委員会の指摘・提言	評価 S～C
I 提案 の 履 行 状 況 に 関 す る 項 目	平 等 利 用 が 確 保 さ れ る よ う 適 切 な 管 理 を 行 な う た め の 方 策	(1)施設の設置目的及び管理運営方針	①施設の設置目的に沿った運営	①体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、併せて文化的な集会及び催物の場を提供することを目的に大阪府の競技スポーツ・生涯スポーツの拠点施設として設置された大阪府立門真スポーツセンター（以下、「当施設」）の目的に沿った管理運営を実践。 当施設の管理運営にあたっては、利用者サービスの向上や経費の節減を図ることはもとより、民間の経営手法や人材・技術力などの活力を最大限に活かした運営を行うことにより、施設を有効利用した事業展開を図るなど、魅力的な施設運営を目指す大阪府の意向に沿った管理運営を実践。 利用者に安全と安心の施設提供を行い、結果として利用者増にもつながった。	A	①条例の設置目的に従って「体育・スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、併せて文化的な集会及び催物の場」を提供できるよう、適切な管理運営ができています。 また、メインアリーナでは、春～夏：水泳の大会やイベント、秋：大相撲や学校等の運動会、冬：フィギュアスケートの国際大会などメインアリーナの形態に応じた利用がなされている。	A		A
			②提案した管理運営方針に沿った管理	②施設を有効活用するために、自主事業としてスポーツ教室及び文化教室を実施。 ●スポーツ教室→ 講座数：25 新たにDanceFit教室を開講 ●文化教室→ 講座数：1 ●近隣 2市と連携したプール利用補助券の販売実施。 ●令和6年上期（4月～9月）実績 ・門真市 利用者数：■人、前年差：■人 ・大東市 利用者数：■人、前年差：■人 ・利用補助券にて、上期のみで8,591人にご利用いただいた（前年+347人）。販売実績も昨年度を234,000円上回っているため、下期も利用補助券での利用増が見込まれる。 ●職員の一般知識及び専門知識向上のため各種研修を実施。 ・令和6年度：4月9日、5月14日、6月11日、7月9日、9月10日：集団安全研修および緊急対応訓練（8月は休館なしのため、個人でCPRの練習を実施） ・令和6年7月9日：水中安全研修 COSPAの専門部署による研修も実施。 ・令和6年9月10日：消防避難訓練 消防署職員立ち合いにて実施。消防職員4名にて訓練の様子をチェックいただいたが、高いレベルでの訓練が実施できているとお褒めの言葉をいただいた。また、水消火器による消火訓練も実施をした。		②施設の特性を生かした自主事業を実施することができている。また、新たにDanceFit教室を開講し府民のスポーツ振興に貢献できている。 プール利用補助券については、昨年度に引き続き販売を行っており、利用者数及び売上金額も増加している。 研修についても様々な研修を実施することができており、職員の資質向上を図ることができている。			
			③社会貢献活動、環境活動、法令遵守の取組み	③地元学生の職場体験受入れを実施。 昨年よりも1校多い3校の実施を予定 している（内1校は9月に実施済み）。社会勉強の一助となるように今後も協力を行う。 日々の光熱水量を確認し、職員の目につくところに省エネの掲示を行い、利用者への協力も呼びかけ、省エネの意識が向上した。 本社専門担当による内部監査を実施し、個人情報の取り扱いや法令順守を徹底。特に個人情報の管理は、プライバシーマークを取得していることもあり、厳しい視点での管理を実施している。		③昨年度よりも地元学生の職場体験の受入れ校を増やしており、引き続き社会貢献活動に寄与することができている。 内部監査では指摘等もなく、個人情報の取扱いをはじめ、法令順守の取組みがなされている。			

施設名称：府立門真スポーツセンター			指定管理者：CM・関電FA・パティネレジャー 門真SC共同事業体	指定期間：令和2年4月1日～令和12年3月31日	所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課		
評価項目			評価基準（内容）	指定管理者の自己評価 評価 S～C	施設所管課の評価 評価 S～C	評価委員会の指摘・提言 評価 S～C	
	(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	① 公平なサービス提供、対応状況	■誰もが使いやすい施設・ハードの整備や、誰もが参加できる事業、平等に利用できる運用ルールの設定マナー向上の啓発を実施。 無料で参加できるプログラムとして、プールでは「ワンポイントレッスン」、トレーニングでは「サービスプログラム」を実施。 ②＜高齢者への利用配慮＞ 健康運動指導士5人を配置。新たに日本赤十字社水上安全法救助員も配置。 トレーニングルームやプールにおいて、高齢者が利用しやすい環境を整えている。 ＜障がい者への利用配慮＞ 障がい者及び介助者の利用料金、駐車料金の減免対応。バラスポーツ指導員を4名、バラスポーツコーチを1名配置。 貸出し用の車椅子を1台新設 し、計4台設置。館内に「特別な配慮をご希望の方はスタッフまでお声かけください」の案内を設置し、合理的配慮に向けた取り組みを強化した。 どなたでもご参加可能な ボッチャ&ペタングの無料体験イベント を企画し、「心のバリアフリー」も推進。 令和6年上期（4月～9月）減免対応利用者実績 ・トレーニングルーム：6,228人 ・プール：5,642人 ・ 計11,870人（前年+316人） ③5類感染症へ以降後も出入口には消毒液を常設し、感染防止対策を継続している。ストレッチマットやロッカー等、定期的な備品消毒も行って、より安心な施設提供を行っている。新型コロナウイルス発生当初から、これまでもクラスターを発生させることはなく、運営を継続している。	A	①誰もが無料で参加できるプログラムを複数実施しており、参加者も多く、競技の能力向上を図ることができている。 ②健康運動指導士やバラスポーツ指導員を複数名配置することにより、高齢者や障がい者が安全に利用できるよう配慮されている。 また、車椅子の新設や無料体験イベントの企画を行うなど障がい者のスポーツの場を提供することができている。 ③施設職員や利用者が普段使用する場所の消毒等、感染拡大防止のための取組みを実施することができおり、クラスターの発生もなく運営することができている。	A	
		② 高齢者、障がい者等に対する配慮					
		③ 感染拡大防止対策の徹底					
	施設の効用を最大限發揮するための方策	(3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果	①利用者増を目指したにぎわいづくり方策の取組み ②年間の広告・広報計画等の情報発信の取組み〔指標〕利用者数 令和5年度実績：425,781人 令和6年度目標：430,613人 9月末現在実績：280,204人 令和6年度見込：577,850人	①月間行事案内を毎月発行し、要所への設置と関係各所への送付を実施。近隣の自治会にも働きかけ、身近な施設としてPRを重ねた。 キッチンカーや移動式託児所を設置することで、利用者増に努めた。トレーニングルームでの紹介イベントやプールキッズデーの開催等により、一般利用者の増加にも繋がっている。 ②令和6年度利用者数： 280,204人 ⇒ 前年+73,870人 ⇒ 前年同期比：135.2% ・コロナ影響により大幅な利用者減となった令和3年から比較すると、+178,350人の利用者増となっており、 コロナ禍以降初めてコロナ以前の利用者数を上回った 。 ⇒ 平成30年：240,488人 ⇒ 令和6年：280,204人（+39,716人）	S	①月間行事案内等を通じて、幅広くイベント等のPRを実施することができている。 また、トレーニングルームやプールでイベントを行うことで新たな利用者の確保にもつながっている。 ②指定管理者による事業PR等により競技大会やイベント、興行の誘致を多く行うことにより、大幅に利用者を増やすことができおり、上半期の実績としてコロナ禍以前の施設利用者数を上回ることができている。前年度比約135%と大幅な増加となっている。	S
		(4) サービスの向上を図るための具体的手法・効果	①提案のあったサービス向上策の取組み ②自主事業の取組み ③施設設備、機能の活用	①デジタルサイネージでのタイムリーな情報発信による利用者満足度の向上に努めた。 特別な配慮が必要な方への案内を強化すると共に、ボッチャのイベントも企画して誰もが楽しめる施設づくりにも努めた。 ②自主事業として各種スポーツ教室等を継続実施。利用者のニーズに合わせ、DanceFit教室の新規開設も行った。 人気の高いリトモスは3か月に1回のペースでイベントも開催し、毎回ほぼ定員の集客状況となっている。 近隣幼稚園の水泳指導を受託し、着衣水泳も実施。また、水泳教室や短期教室への参加者増に努めた。 ③複合施設として様々な競技大会、イベント等を同日開催し、施設の有効活用を行った。 プール可動床を活用し、水球団体との連携をはじめ、アーティスティックスイミング日本代表チームのサポートをしている。	A	①有資格者を配置することにより高齢者や障がい者が利用しやすい施設となるよう努めることができている。 また、施設情報をタイムリーに発信することで利用者満足度の向上にもつながっている。 ②昨年度に引き続き、スポーツ教室及び文化教室を実施し、イベント等の開催により参加者の増加にも努めることができている。 ③プール、アリーナ及びアイススケートリンク全てにおいて、高い利用率を誇り、各々の用途に沿った大会やイベント等を行うことができている。	A

施設名称：府立門真スポーツセンター			指定管理者：CM・関電FA・パティネレジャー 門真SC共同事業体		指定期間：令和2年4月1日～令和12年3月31日	所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課			
評価項目			評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価 S～C	施設所管課の評価	評価 S～C	評価委員会の指摘・提言	評価 S～C
I 提案の 履行状況に 関する項目	施設の 効用を最大 限發揮する ための方策	(5)施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	①施設設備の効果的な維持管理 ②施設設備の安全管理 ③緊急時の危機管理体制	①仕様書に則った設備維持管理を行い、大阪府様へのタイムリーな報告も実施している。異変を発見した場合は、早急に対応を行った。また、適宜大阪府様への報告も行っている。 ②職員間で不具合箇所の情報を共有し、リストの作成と活用により効率良く改善を実施。 ③危機管理マニュアルに基づいた行動を心掛け、危機管理体制を共有している。 年間通じて定期的な消防訓練、緊急対応訓練、CPR訓練を確実に 行い緊急時対応の技術を維持する。消防避難訓練は、消防職員立ち合いの下で実施した。 プール繁忙期に備え、7月には本社専門部署マネジャー立ち合いのもと、 プール安全研修 も実施した。 地震・火災・水害等の緊急時は、関係機関と連携しながら利用者や従業員の安全確保を図り、被害拡大を阻止できるように訓練を実施している。9月3日には 大阪889万人訓練 も実施し、利用者にも協力いただいて館外までの避難訓練を実施した。 安否確認システムを採用しており、職員の安否確認も実施している。	A	①施設修繕会議を定期的に実施し、設備の現状等について共有のうえ、維持管理について協議し対応することができている。 ②施設設備等に不具合が発生した際の対処や管理体制が整備されており、府民等から不具合の連絡があった際には、即日対応を行うことができている。 ③緊急対応訓練や消防立会いのもと消防訓練を実施することで災害等に対する意識を高めることができている。また、プール繁忙期に前にプール安全研修を実施する等、危機管理意識の向上を図ることができている。	A		A
		(6)収入確保策の実施	①広告収入等の収入確保策の取組み ②提案どおり実施されているか。	①空きスペースを活用し、実施可能期間は車の撮影会場として場所の提供を行い、約4,000円/回の収入を得ている。 令和5年度は3回/月のペースであったが、 令和6年度は8回/月程度のペース で収入を得ている。 ②スケート実施時期には横断幕やのぼりを設置し、ポスター掲示と合わせて集客に努める。	A	①施設の空きスペースを活用しての取組みにより、昨年度以上に収入確保を行うことができている。 ②HPバナーをはじめ、アイスクレーターの横断幕等を設置し、集客にも努めることができている。	A		A
その他管理に際して必要な事項		(7)府施策との整合	①府、公益事業協力等の取組み ②行政の福祉化の取組み ③市民・NPOとの協働の取組み	①アスマイルの啓蒙掲示物の掲示協力。 府政学習会は192名の申し込みがあり、申込者多数のため128名が抽選で選ばれ、 193名が参加 をされた。府民が当館に興味を持っていただいていることが感じられる。 府各部局からの啓蒙掲示物の掲示協力。 大阪マラソン、府催事広告の協力。 門真警察の防犯啓発ポスター掲示協力。 守口門真市消防組合祖消防本部の防火啓発ポスターの掲示協力。 まいど子でもカード、アクティブシニアパートナー利用料金割引実施し、まいど子でもカード19人、アクティブシニア2人が上期に利用された。 C-STEPへの継続加盟。 大阪・関西万博のチラシやのぼりを設置。 令和7年度予定の長期改修工事については、繰り返しの打ち合わせと会場の提供を実施。 ②地域就労支援センター、母子支援センター等、各就労支援事業から雇用活動実施。 共同事業体各社 障がい者の実雇用率 ＜令和6年4月1日現在＞ ・株式会社COSPAウエルネス： 2.79% ・関電ファシリティーズ株式会社： 2.71% ・株式会社パティネレジャー： 3.16% ⇒ 構成企業全てにおいて 2.3%超 を保っている。 平成30年より、パラリンピックの出場を目指すバラスポーツ競技者1名を当施設で雇用し、様々なサポートを継続中。 パリパラリンピックへの出場は叶わなかったが、全国障害者スポーツ大会には、2年連続で大阪府代表として出場することが決まった。 ③職場体験の受け入れや幼稚園との協働による水泳指導を実施。福祉関連団体やボランティア団体との連携も行い、スムーズな施設利用に向けて双方で協働を行った。 福祉団体には準備や後片付けを含めて積極的な協力を心掛け、その結果として、繰り返しのご利用をいただいている。	A	①府福祉部施策である「まいど子でもカード」及び「アクティブシニアパートナー」をはじめ、多くの大阪府施策に積極的に協力している。 ②C-STEPへの加入や知的障がい者の雇用に取り組んでおり、(株)COSPAウエルネス及び関電ファシリティーズ(株)においては、障がい者の実雇用率が昨年度より上昇している。また、従業員の中からパラリンピック選手を輩出し、継続してサポートしている。 ③門真市内3校の職場体験の受け入れに協力している。また、各団体と施設利用前に情報共有を行うことでスムーズに施設利用できるように対応ができている。	A		A

施設名称：府立門真スポーツセンター			指定管理者：CM・関電FA・パティネレジャー 門真SC共同事業体	指定期間：令和2年4月1日～令和12年3月31日	所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課				
評価項目			評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価 S～C	施設所管課の評価	評価 S～C	評価委員会の指摘・提言	評価 S～C
			④環境問題への取組み	④SDGsの17ゴール（6、7、12、13、15など）を意識し、雨水や井戸水の利用、コピー用紙の削減や省エネによる環境保全に努めた。COSPАウエルネスの費用にて、井水設備を設置し、雑用水として使用。 メインプール期間終了後の排水を、雨水貯蔵タンクへ移行し雑用水としてトイレの排水等を使用。 老朽化した照明器具を順次LED化し、節電効果の高いものに変更。 外気温や利用者数に応じて、濾過機、空調などの間欠運転を実施し節電に努めた。 COSPАウエルネスの費用で空調機制御インバーターを導入しており、24時間必要に応じた制御を実施。 コピー用紙は裏紙の使用やページ集約機能を活用し、使用量の削減を実施。 植栽への散水機の吐出時間及び、駐輪場や街灯を季節に応じてタイマー調整し節電、節水に努めた。 省エネに向けた意識の向上と効率を高めるため、タイムトライアルやスタッフのマルチ化等を推進し、スタッフの育成にも注力した。		④SDGsの17ゴールを意識した取組みを実施できており、気候や利用状況に応じた取組みにて、節電・節水に努めている。また、コピー用紙の裏紙を使用する等、紙の使用削減にも努めている。 【参考（SDGsの17ゴールについて）】 6：安全な水とトイレを世界中に 7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに 12：つくる責任つかう責任 13：気候変動に具体的な対策を 15：陸の豊かさを守ろう			
			I 総括	7項目（28点満点）	A	7項目（28点満点）	A		A
II さらなるサービスの向上に関する事項	(1)利用者満足度調査等	①利用者満足度調査等の実施状況	①アンケートを実施し、利用者満足度の向上に努めている。 （令和5年度配布実績 配布数567通 総合的な満足度の回答では、大変満足：69.7％・満足：30.3％の結果となり、満足以上の回答が100％を占めた。 「また利用したいか」の質問では、100％が「また利用したい」の回答であった。	A	①アンケート結果について、「大変満足」及び「満足」の回答が「100％」となっており、昨年度よりも「大変満足」が上昇し非常に良い結果となっている。	A		A	
		②調査結果のフィードバック（PDCA）	②結果は職員へ共有し、緊急性や影響度を考慮して、即日改善や計画的な改善を行っている。		②利用者からの意見・要望を受け、緊急性等を考慮し随時実施している。				
	(2)自主事業	①さらなるサービス向上の取組み 〔指標1〕自主事業参加者数 R5実績：3,273人、上半期実績：2,793人 R6目標：4,016人、上半期実績：3,139人	①Dance Fit教室の開講も行い、昨年度は2回の開催であったイベントも上期で5回開催。利用者のニーズにお応えするプライベートスイムも定着し、利用者増につながった。	A	他の施設では見られない独自性のある自主事業を行っており、新たにDanceFit教室を開設したこともあり参加者数増加につながっている。また、冬季には参加者の多いスケート教室も控えているため、目標人数を超える見込みであるが、自主事業収入については昨年度からは減少となっており、目標値には届かない見込みである。	B		B	
		〔指標2〕自主事業収入状況 R5実績：55,635,757円、上半期実績：20,286,537円 R6目標：66,666,000円、上半期実績：18,705,607円	令和5年度はアイススケートショーに係る自主事業業務の4月計上分が1,439,850円あったため、それを除けば99.3％とほぼ前年と同じ。						
(3)その他創意工夫	①その他創意工夫の取組み	①主催者と協力してキッチンカーを出店し、施設利用者だけでなく地域の方にもご利用いただいた。下期にもキッチンカーを出店予定。 ・競泳国際公認プールであるメインプールの一般開放日を設定し、競技者以外の方にもご利用いただいた。 ・ホームページから当館宛のお問い合わせやご意見を送れるように設定した。 ・来場者が多数見込まれる日は、主催者・タイムズ24とも連携を取り、入出庫の時間短縮に努めた。イベントによっては出庫に2時間以上を要することもあり、1時間程度の時間短縮を実現している。	S	・メインプールにおいて一般開放日を設けることで、幅広い利用者の獲得に努めることができている。 ・ホームページ内に問合せフォームを設けることで利用者の意見を聞ける環境を整えることができている。 ・アウトレットの閉館により、駐車場が混雑することが多くなる中、出入口変更等を実施することで入出庫時間を短縮できている。	A		A		
			II 総括	3項目（12点満点）	A	3項目（12点満点）	A		A

